

日本語教育プログラム
(年次報告(平成23年度後期・24年度前期) I
日本語・日本事情教育)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-04-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 案野, 香子, 袴田, 麻里 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00007675

会 話 1コマ/週

使用教材：『文化中級日本語Ⅰ、Ⅱ』（文化外国語専門学校）

目 的：語彙・文法、速読で得た語彙や表現を口頭で表現できるようになる。

内 容：語彙・文法、速読の教材の内容について、ディスカッションを行なう。また、同じ話題で日本人ボランティア学生ともディスカッションを行ない、対話の形式、質問に対する返答など適切に発話できるよう練習する。

科学系日本語 1コマ/週

使用教材：『留学生、研修生のための科学技術日本語』（金沢工業大学）

目 的：工学部では日常的に使用されるが、日本語教材では取り上げられない語彙、表現を身に付ける。

内 容：1コマ1課で「手を使う」など項目ごとに動詞、また状態を表す副詞の導入、練習を行なう。受講生の母国語に対応する語が必ずしもあるとは限らないため、できるだけ実物や動作を使い、具体的な理解を促す。課ごとに理解を確認するテストを行なう。

6. 学内での連携

来日時の日本語能力が学部入学レベルではないこと、年齢が低く精神的に不安定であることを考慮して、工学部との連携を強化した。特に各学生のチューターは、勉学の支援だけでなく生活面の支援も行おうであろうことが予想された。そのため、事前に国際交流センター教員が面談を行い、ベトナム人学生特有の問題点などについて、簡単なガイダンスを行った。

工学部の正規生として在籍しているため、指導教員と NIFEE 授業担当教員へプレイスメントテストの結果を送付し、学生の日本語力把握を促した。また、中間試験、期末試験結果は、履修状況とともに指導教員と NIFEE 授業担当教員へ送付し、相互に連絡を取り合いながら、半年間の指導にあたった。

コースでは、留学生支援ボランティアや学外者をゲストに招き、学んだことを使い、同時に多様な日本語に触れる機会を作るよう心がけた。

コース以外にも日本人や日本文化への理解を深めるため、浜松市民のグループからの申し出を受け、月に一度交流する機会を作った。

日本語教育プログラム

案野 香子／袴田 麻里

1. コースの概要

日本語教育プログラムは静岡大学で勉強するすべての留学生のための15週間の日本語コースである。学習内容には、日常的コミュニケーションのほか、研究活動に必要な口頭発表やレポート執筆の技能なども含まれている。日本語を初めて勉強する人の入門科目（日本

語 1)、初級科目 (日本語 2)、中級前半科目 (日本語 3)、中級後半科目 (日本語 4)、上級科目 (日本語 5) の 5 つのレベルがある。学期始めのプレイスメント・テストの結果によってレベルを決定する。所定の基準を満たせば単位 (1 ~ 2 単位) が認定されるが、このプログラムで履修した単位は静岡大学の卒業単位には含まれない。

留学生の定員に空きがある場合には、静岡大学の研究者・留学生の配偶者などで、プレイスメント・テストの結果から、当プログラムの留学生と日本語力が同等であると判断され、センター長が適当と認めた者は、所定の授業料を納付してこのプログラムを受講することができる。ただし、成績評価および単位の認定はできない。

2. 静岡キャンパス

案野 香子

平成 23 年度後期

開講期間は平成 23 年 10 月 11 日から 2 月 14 日までである。入門、初級、中級前半、中級後半、上級の 5 つのレベルを設置した。

【日本語 1A (日本語入門)】

授業時間数：週 3 コマ

学 習 内 容：初級文型の学習と総合的なコミュニケーション練習。

使用テキスト：『にほんご 45 時間』(専門教育出版)、静岡大学留学生センター開発『平仮名』
『片仮名』

受 講 者 数：11 名

【日本語 2A (日本語初歩)】

授業時間数：週 3 コマ

学 習 内 容：文章を読み、文法練習する。会話、聴解、作文の練習をする。

使用テキスト：『J BRIDGE』(スリーエーネットワーク)

受 講 者 数：10 名

【日本語 3A (読解・文法)】

授業時間数：週 1 コマ

学 習 内 容：さまざまな話題の文章を読む。文法、語彙練習をする。漢字・文法クイズを行う。

使用テキスト：『テーマ別中級から学ぶ日本語』(研究社)

受 講 人 数：12 名

【日本語 3B (聴解・語彙)】

授業時間数：週 1 コマ

学 習 内 容：学習・研究生活・日常生活での会話、講義・ニュース等の独和を聞く力を養うと同時に、文脈の中での使われ方を通して語彙や語法を学んでいく。

使用テキスト：プリント配布

受講人数：11名

【日本語 3C（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：作文に必要な表現を学ぶ。その表現を使って、自分に関係する日常生活の事柄を書く。次に、作文で書いた内容を口頭で表現する。

使用テキスト：『どんなときどう使う日本語表現文型 200』（アルク）

受講人数：13名

【日本語 3D（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：毎回、担当の学生が短いスピーチをし、クラスで意見交換をする。また、日常生活、大学生活でよく使われる語彙・表現を学ぶ。

使用テキスト：プリント配布

受講人数：9名

【日本語 4A（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：さまざまな文体の文章を読む。新聞・雑誌の記事からは日本事情を考察し、エッセーや小説からは日本的言い回しを学ぶ。

使用テキスト：新聞、雑誌、書類からの抜粋

受講人数：8名

【日本語 4B（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：テレビドラマ「プライド」を鑑賞しながら、日常生活の話し言葉に慣れるとともに、様々なテーマについての知識を深める。また、ドラマにおける語彙を身に着ける。

使用テキスト：プリント配布

受講人数：13名

【日本語 4C（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：目上の人に宛てた丁寧なEメールや手紙の書き方を学ぶ。小論文の書き方を学ぶ。

使用テキスト：プリント配布

受講人数：14名

【日本語 5A（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学 習 内 容：教材の文章を読む、関連した話題の聴解能力を養う、要約を書いて発表する、必要な情報を調べて発表する。

使用テキスト：特になし

受 講 人 数：6名

【日本語 5B（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学 習 内 容：一般教養的なテーマを取り上げ、読解の技術を養う。日本語能力をさらに高めながら、大意を捉え自分の意見や考察をわかりやすくまとめて口頭で発表する練習を通じて、アカデミックな日本語の用法・機能、文章表現についての理解を深める。

使用テキスト：プリント配布

受 講 人 数：9名

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限		日本語 3C 作文・話し方			
3・4時限	日本語 1A 日本語初歩	日本語 2A 日本語基礎 ----- 日本語 4C 作文・話し方	日本語 1A 日本語初歩 ----- 日本語 3A 読解・文法	日本語 2A 日本語基礎	日本語 4B 聴解・語彙
5・6時限	日本語 3D 日本語総合	日本語 1A 日本語初歩 ----- 日本語 5B 日本語総合	日本語 2A 日本語基礎 ----- 日本語 4A 読解・文法	日本語 3B 聴解・語彙	
7・8時限			日本語 5A 日本語総合		

平成 24 年度前期

開講期間は平成 24 年 4 月 10 日から 7 月 27 日までである。入門、初級、中級前半、中級後半、上級の 5 レベルを設置した。

【日本語 1a（日本語入門）】

授業時間数：週3コマ

学 習 内 容：初級文型の学習と総合的なコミュニケーション練習。

使用テキスト：『にほんご 45 時間』（専門教育出版）、静岡大学留学生センター開発『平仮名』『片仮名』

受講者数：2名

【日本語 2a（日本語初歩）】

授業時間数：週3コマ

学習内容：文章を読み、文法練習する。会話、聴解、作文の練習をする。

使用テキスト：『中級へ行こう』（スリーエーネットワーク）

受講者数：2名

【日本語 3a（読解・作文）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：さまざまな話題の文章を読む。文法、語彙練習をする。

使用テキスト：『中級を学ぼう 中級中期』（スリーエーネットワーク）

受講人数：6名

【日本語 3b（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：週刊ストーリーランドのアニメドラマを鑑賞しながら、日常生活の話し言葉に慣れるとともに、様々なテーマについての知識を深める。

使用テキスト：プリント配布

受講人数：5名

【日本語 3c（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：論理的な文章の書き方を学びながら、各課題に沿った口頭発表や討論を行う。

使用テキスト：『大学・大学院 留学生の日本語② 作文編』（アカデミック・ジャパニーズ研究会）

受講人数：5名

【日本語 4a（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：日本語の文章を読み、内容について話し合う。文法の練習をする。様々な語彙を使った練習をする。

使用テキスト：『日本語中級 J501』（スリーエーネットワーク）

受講人数：14名

【日本語 4b（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：テレビドラマ「クロサギ」を鑑賞しながら、日常生活の話し言葉に慣れるとともに、様々なテーマについての知識を深める。また、ドラマにおける語彙

を身に着ける。

使用テキスト：プリント配布

受講人数：9名

【日本語 4c（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：会話・作文ともに様々な状況を想定し言葉の使い分けを学ぶ。事実や状況を正確に伝えたり、自分の意見を論理的に説明したりする練習を行う。

使用テキスト：プリント配布

受講人数：12名

【日本語 5a（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：一般教養的なテーマを取り上げ、読解の技術を養う。日本語能力をさらに高めながら、大意を捉え自分の意見や考察をわかりやすくまとめて口頭で発表する練習を通じて、アカデミックな日本語の用法・機能、文章表現についての理解を深める。

使用テキスト：プリント配布

受講人数：10名

【日本語 5b（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：コンピューターの基本的な使い方を学び、日本語学習に活用する。

使用テキスト：プリント配布

受講人数：4名

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限		日本語 2a 日本語基礎			日本語 3c 聴解・語彙
3・4時限	日本語 1a 日本語初歩	日本語 5b 日本語総合	日本語 1a 日本語初歩	日本語 1a 日本語初歩	日本語 4b 聴解・語彙
			日本語 4a 読解・文法	日本語 5a 日本語総合	
5・6時限	日本語 2a 日本語基礎	日本語 3c 作文・話し方	日本語 2a 日本語基礎	日本語 4c 作文・話し方	
7・8時限			日本語 3a 読解・文法		

3. 浜松キャンパス

袴田 麻里

平成 23 年度後期

開講期間は平成 23 年 10 月 11 日から平成 24 年 2 月 14 日までである。入門、初級、中級前半の 3 レベルを設置した。浜松キャンパスには、初級の集中コースがないことから、毎学期国際交流センター経費で日本語 1 クラスにおいて 7 回の補習を行っている。

【日本語 1 - A (日本語入門)】

授業時間数：週 3 コマ＋補習授業 7 回

授業の目的：「話す」「聞く」技能養成を目指す。仮名の読みは習得する。また、生活漢字を導入したり、生活会話の時間を設けることによって、日本での生活が円滑にできるようにする。

使用テキスト：みんなの日本語 初級 1』

受講者数：12 名

【日本語 2 - A (日本語初級)】

授業時間数：週 3 コマ

授業の目的：初級後半の学習項目を文法を中心に学ぶ。特に「話す」「聞く」技能を向上させるため、聴解教材や会話練習を多く取り入れた授業を行う。

使用テキスト：『みんなの日本語 初級 2』

受講者数：5 名 (留学生 2、研究者 1、配偶者 2)

【日本語 3 - A (読解・文法)】

授業時間数：週 1 コマ

授業の目的：様々な話題の文章を読み、中級文型・表現を学ぶ。

使用テキスト：新聞記事など生教材

受講者数：12 名 (留学生 11、配偶者 1)

【日本語 3 - B (聴解・語彙)】

授業時間数：週 1 コマ

授業の目的：身近な場面に関する日本語聴解、漢字・カタカナ語彙を習得する。

使用テキスト：『J-Bridge』

受講者数：9 名 (留学生 8、配偶者 1)

【日本語 3 - C (作文・話し方)】

授業時間数：週 1 コマ

授業の目的：書き言葉の特徴を学ぶ、テーマに沿って作文し、作文をもとに発表する。

使用テキスト：『大学生・大学院生のための日本語論文作成編』

受講者数：9 名

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3・4 (10:20 - 11:50)	日本語1 - A		日本語1 - A	日本語1 - A	
5・6 (12:45 - 14:15)		日本語2 - A	日本語2 - A	日本語3 - B	日本語2 - A
7・8 (14:25 - 15:55)	日本語3 - C				日本語3 - A

平成24年度前期

開講期間は平成24年4月10日から平成24年7月27日までである。プレースメントテストを行い、入門、初級、中級前半の3レベルを設置した。

【日本語1 - a (日本語初歩)】

授業時間数：週3コマ+補習7回

授業の目的：「話す」「聞く」技能養成を目指す。仮名の読みは習得する。また、生活漢字を導入したり、生活会話の時間を設けることによって、日本での生活が円滑にできるようにする。

使用テキスト：『みんなの日本語 初級1』

受講者数：7名（留学生5、配偶者2）

【日本語2 - a (日本語基礎)】

授業時間数：週3コマ

授業の目的：初級後半の学習項目を文法を中心に学ぶ。特に「話す」「聞く」技能を向上させるため、聴解教材や会話練習を多く取り入れた授業を行う。

使用テキスト：『みんなの日本語 初級2』

受講者数：8名

【日本語3 - a (読解・文法)】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：様々な話題の文章を読み、中級文型・表現を学ぶ。

使用テキスト：新聞記事など生教材

受講者数：10名

【日本語3 - b (聴解・語彙)】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：身近な場面に関する日本語聴解、漢字・カタカナ語彙を習得する。

使用テキスト：『日本語生中継 初中級編』

受講者数：7名